

# 2024 年度第 6 回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2024 年 12 月 5 日(木) 13:00 ~17:13

会 場：日本代協会議室

出席者：全理事数 17 名、出席理事数 16 名、出席監事数 2 名（津田監事 小島監事）  
小田島会長 中島副会長 山中副会長（ZOOM）  
佐々木理事 雨宮(豊)理事 石川理事 小橋理事 三好理事 郡理事 松本理事  
雨宮(新)理事 藤山理事 植村理事 大和理事 金澤専務 坂常務  
欠席理事：小侯副会長（Web 参加：事務局）

会長 小田島 綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第 33 条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

## <会長挨拶>

みなさん、こんにちは

先月開催のコンベンションにつきまして、無事に開催できましたことに感謝を申し上げます。ご協力ありがとうございました。私は、コンベンションは感謝と学びと交流の三部構成だと思っています。ご意見もある部分ですが、代理店価値向上のためにご尽力くださった先輩方のご功績を紹介し、讃える時間は尊く、若い世代にとっても代協という団体の歴史や職業倫理感などの言葉では表現できない雰囲気伝わったのではないかと存じます。

あらためまして、地域担当理事の皆さん、ありがとうございました。

さて、先週、国際保険流通会議に参加して参りました。金融庁監督局保険課の課長補佐の迫（はざま）様から、2024 年度保険行政ポイントについてお話を伺いました。あらためて保険代理店は、お客さまとの接点としてお客さまと保険会社をつなぐ重要な役割を担っていることおよび保険代理店における業務品質の向上や体制整備の高度化を促していくという内容でありました。有識者会議に続き金融審議会のワーキンググループ、損保協会の第三者検討会に日本代協はオブザーバーとして金澤専務が出席し、会員さんからの声をお届けしていますが、この動向や経緯などもしっかりと注視しつつ自社業務を見つめ、経営を行なう必要があると思います。

早くも師走です。私たち理事チームの任期は 4 分の 1 が経過しました。本日の報告を皆で共有し、年末年始、年度末、会員さんが集まる会合においてしっかりとお伝えしてまいります。

## <前回理事会以降の業務報告>

- 11 月 8 日 東京代協と全国消費生活相談員協会関東支部との懇談会
- 11 月 21 日 正副会長会議
- 11 月 30 日 国際保険流通会議

## ■審議事項

### 1. 2025 年度日本代協事業計画案の検討（各代協・ブロックからの提言）

事務局より、資料に基づき、2025 年度日本代協事業計画に対する提言内容について報告があり、対応案ならびに検討内容について、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

- ・本日の議論を踏まえて、2025 年度事業計画（案）を作成する。
- ・事業計画案は 25 年 2 月の理事会の審議議案に入れる。
- ・「2025 年度日本代協事業計画に対する提言検討案」の第 6 回理事会審議結果を追記した資料を議事録に添付し、配信する。

(主な意見・方向)

#### 7. ベンチマーク研修の費用補助

- ・費用面は外して、ベンチマーク代理店の情報収集などの運営面を検討する。

#### 9. ブロック長懇談会

- ・ブロック協議会は日本代協の組織体であり、ブロック長は地域の代表ではない。
- ・ブロック協議会の現状のあり方に問題があり、懇談会の再開は期待できる。
- ・全国的な諸課題が共有できれば小さな単位での運営面に貢献できるはずである。
- ・ブロック協議会において地域担当理事が来賓扱となっている状態はおかしい。初回はリアルでその後は web 開催で構わない。
- ・事務局案に基づき、今後ブロック運営について深堀する。

※他

- ・提案内容に付随して、「奨学金の代理返済」についての紹介があった。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kigyoshien/index.html>)

〔審 1-1〕 2025 年度事業計画 提言への対応案

〔審 1-2〕 提言報告用紙（提言数 10 件 教育委員会案件は審議 3 として審議する）

### 2. 2025 年度「仲間づくり推進」入会目標ガイドライン

藤山組織委員長より、資料に基づき、2025 年度「仲間づくり推進」の入会目標ガイドラインについて提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

全国合計目標を 331 会員とすること。

目標会員数の計算根拠等は下記の通りである

- ・仲間づくり推進の目標値は、24 年 3 月末現在の「みなし専業未加入代理店数×2%」に「みなし ALL チャンネル未加入代理店数×0.1%」を合算した数値とすること。
- ・「専業未加入代理店 50 店につき 1 店」に加え、「ALL チャンネル未加入代理店 1,000 店につき 1 店」を会員にすれば、各代協とも目標を達成することができる想定であること。
- ・組織率が 80%以上の京都、奈良、徳島、香川代協については「みなし専業未加入代理店数 2%」を適用せず、ALL チャンネルベースのみの算出とすること。

〔審 2〕 2025 年度「仲間づくり推進」入会目標ガイドライン案（組織委員会）

3. 日本代協アカデミーへの代協独自コンテンツ継続的投入について  
両宮教育委員長より、資料に基づき、代協独自コンテンツの継続投入について説明があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

**【決定したこと】**

- ・日本代協アカデミーへのコンテンツ投入を推進すること。

(主な内容)

- ・代理店経営の自走化、教育の高度化に向けた方向性を踏まえたものである。
- ・教育計画の策定が始まる時期などを考慮してスケジュールを早目に提供したい。
- ・要望が多かった態勢整備に関する吉田弁護士の動画をリニューアルする。
- ・ニュートンの問題確認における教育委員会の負荷が大きなことを認識している、ただし独自性があるので頑張ってもらいたい。教育委員会メンバーにエールを送りたい。
- ・現在でも委員会活動の負荷が大きい中で、各地の取組情報の収録などが実際に可能かを確認したい。施策否定ではなく、メンバーの負荷の面を心配している。  
→ありがたいご指摘に感謝する。実際の情報収集や携帯での収録などを他の委員会や各地で支援いただくことをお願いしたい。ご当地全体の取り組みとすることで自分事として情宣に力を入れていただきたい。

〔審 1-2〕 提言報告用紙

4. 資格審査委員会の設置および資格審査委員の選任  
会長より、監事1名の補欠選任のために、資格審査委員会の設置および委員の選任について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

**【決定したこと】**

役員選任規則第4章第7条（設置）、第8条（委員）に則り、資格審査委員会を設置する。また、3名の資格審査委員を選任し、委員会はWEB会議で行う。

(1) 資格審査委員会の設置

WEB会議で2025年1月29日に開催する。

(2) 資格審査委員会委員の選任

佐藤 聖 氏(北海道)、山口 裕貴 氏(滋賀)、井手 秀樹 氏(広島)

■報告事項

1. 第13回日本代協コンベンションの開催報告及び25年度開催日について  
事務局より、資料に基づき、コンベンションの実施報告ならびに次年度開催概要について報告があり、確認共有された。

**【主な報告内容】**

- ・総括として、式典総勢423名、懇親会506名と盛大に開催できた。ご協力に感謝申し上げます。例年通り“集い・語り・高め合う”学びの場として、テーマに沿った基調講演、代協会員によるパネルディスカッション、翌日の分科会まで業界関係者を交えたコンベンションを開催した。
- ・基調講演では、有限会社原田左官工業所代表取締役社長 原田宗亮氏から講演をいただいた。続いて株式会社ライフステージ代表取締役 永野勤一氏と株式会社リーズ代表取

締役社長 長岡誠治氏をパネラーに迎えパネルディスカッションを行った。

- ・第2部懇親会は各保険会社社長をはじめ業界関係者、総勢506名に参加いただき盛会のうちに終了することができた。
- ・コンベンション全体を通して参加者からは、概ね高い評価の意見をいただいております、所定の目的を達成したと考える。
- ・運営面では前回、第1部が若干伸び第2部懇親会に来られた来賓・関係者の方をお待たせした反省から今回は基調講演とパネルディスカッションを入れ替え時間内に終了できるプログラム構成とした。懇親会においては開会までに時間があつたことから来賓挨拶、乾杯時に私語が多く次回への大きな改善点となった(式典・分科会での私語・離席等については、前回に引き続き地域担当理事の皆さまに協力をいただいたが、アンケートで指摘があり改善の余地あり)。
- ・アンケートについては、1週間以内の回答を依頼したが、期限内の回答が75.9%と低く、後追いによる回答依頼を行った(最終91.3%)。
- ・集約済みの参加代協会員向けアンケートを基に、PTメンバーが総括と次年度対策を行う(25年1月31日に検証PT会議実施予定)。
- ・2025年度は11月7日(金)、8日(土)を予定している。

〔報1〕第13回コンベンション開催報告

## 2. 魅力研報告

事務局より第1回実施報告および次回開催について説明があり、確認共有された。

(主な意見)

- ・第1回魅力研でブロック協議会の課題が議論され、25年度の事業計画案の1項目として具体化される。
- ・第2回(12月10日)には論議テーマ案を提出いただいた福岡県代協大塚会長に主旨経緯についてのご説明をいただき、議論を実施する。

〔報2〕第1回魅力研議事録

## 3. その他連絡

### (1) 「代理店経営サポートデスク」の今後の対応について

事務局より説明があり確認共有された。

- ・粕谷経営相談部長の業務は、2025年4月に着任予定の後任者にて対応する。アドバイザーとしての役割も終えることとなる。
- ・実施している水曜日の相談業務は後任者にて継続する。

### (2) 業界関連情報について

「金融審議会WG」および「業務品質第三者検討会」について共有する。

- ・会長懇談会で本日の第5回WGについて報告する。

### (3) 2024年度第3回 会長懇談会について

事務局より12月6日開催の会長懇談会について運営面の共有がなされた。

〔報3-3〕第3回会長懇談会式次第案

#### 4. 事業計画進捗状況

地域担当理事から各担当地域における状況、意見について報告があり、共有された。

##### 【主な内容】

- ・島根県代協では、11/19に藤中真理子 SJ 執行役員を招いて女性部会を開催した。  
参照 → <https://www.s-daikyo.jp/activities/r6/551> <東中国>  
アカデミーの画面の入り方という基礎内容を愚直に展開中。次回人材育成セミナーでも実施。資質向上策の推進をはかる。 <西中国>
- ・損保協会との懇談会における確認事項①防災力、意識の向上に資する水災動画の展開協力②特定修理業者問題の高齢者対策③中小企業向けの保険普及促進（リスク対策）④防災たんけん隊の連携を重視した取組 <東北>
- ・財務局との懇談会における内容①保険会社は適正な引受と適切な支払いが原点②業務品質の向上と態勢整備の高度化の要請受け <東北>
- ・ブロックセミナーを伊那支部が主催し、伊那食品工業の年輪経営を題材とするセミナーでは、目標は従業員自らが設定し、他業務も従業員の主体性を元に運営されていることなどが参考となった。（新潟）委員会活動や各種スケジュールの見える化がなされ有効に展開されている。（長野）女性若手登用の推進。（群馬）防災ボランティア活動が愚直に推進されている。 <上信越>
- ・（茨城）出前講座の講師育成のための研修会を開催。（栃木）自主取組：食料品備蓄の予算化。（埼玉）代賠セミナーを活発に展開し訴訟費用など具体的問題を共有。（千葉）支部活動に役員が積極的に関与し、次年度に災害時の避難所体験会を開催予定。 <東関東>
- ・（山梨）若手主体の新入オリエンテーションを開催すると共に、防災関連のメディア活用を推進。（神奈川）態勢整備セミナーを開催し代理店目線での討論会を予定。 <南関東>
- ・企業系会員懇談会を開催（テーマ：有識者会議と今後の方向性）。公開セミナー防災お片付けと称し、避難所生活での心理的負担をテーマとしている。創立 80 周年記念感謝の会の開催にあたり 111 運動を実施し仲間づくり達成に向け加速中。 <東京>
- ・某社代理店会（未加入代理店 20%）で話をする機会があった。失礼ながら高齢化が顕著に表れており、規模の大小ではなく高齢化の方が問題であることを改めて感じ、世代交代をいかに促していくかが課題と再認識した。
- ・好事例として、退会を大幅に上回る入会結果を出し翌年につながる勢いのある代協活動、従来登場してこなかった若手がコンベンションを通じて今後活躍できる機会を得たことを紹介する。会長自らがウエビナーで 1 時間枠の番組配信を実施するなど率先した行動を予定している点は頼もしく感じた。
- ・（京都）防災に関連する出前講座を検討。（奈良）熱中症対策として防災たんけん隊の実施時期の繰り上げを行う。諸問題が露呈した中で、昨今マスコミが煽るような動きがあり、情報に左右されることなくじっくりと自らの業務を見つめることが重要であるという声があがった。 <近畿>

〔報 4〕別冊：第 6 回理事会 PlanDo シート

## 5. 定期報告

### (1) 仲間づくり推進

藤山組織委員長より資料に基づき説明があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・ 全国区計進捗率は 73%であり、例年同期比でも好調に推移している。各地の活動に感謝を申し上げる。全国での早期達成をはかりたい。

〔報 5-1〕 仲間づくり推進(正会員増強運動)目標達成状況表 (11 月末)

### (2) 日本代協アカデミーの展開

雨宮教育委員長より説明があり、共有された。

#### (主な内容)

- ・ 利用会員数が減少していることがこの時世でとても気になる。代理店独自の教育を求められているので、アカデミーが全てではないが、なにもしていないのであれば心配。
- ・ 新コンテンツの情報番組として、顧客本位の業務運営について募集人目線で参考となる動画を準備し 12 月中にアップ予定である。経営層だけでなく従業員でも理解できる内容にしたので楽しみにしてほしい。(吉田弁護士と企画環境委員長、教育委員長の座談会形式で実施)

〔報 5-2〕 アカデミー都道府県別集計データ (11 月末)

### (3) 損害保険大学課程のトータルプランナー認定状況

雨宮教育委員長より資料に基づき説明があり、共有された。

#### (主な内容)

- ・ 25 年度募集は、12 月 1 日から 2 月 14 日の期間で開始した。
- ・ 損保協会との合同運営会議が開催された  
資格認定証、認定バッジを合格者に自動的に配布願いたいことを提言している。  
また、業界共通の教育制度について、損保一般の募集人資格から抜本的な見直しが検討されている。難易度のアップや更新期間の妥当性などについて、意見交換をして行く。  
新しい仕組みについてご意見を願いますので協力をお願いしたい。

〔報 5-3〕 損害保険大学課程 (11 月末)

### (4) 損害保険大学課程 WEB システム 脆弱性診断

事務局より資料に基づき報告があり、確認共有された。

#### (主な内容)

- ・ 第 5 回理事会で説明のあった脆弱性診断は、11 月 27 日に完了した。
- ・ 各システムにおけるソフトウェアのサポート期限は、2029 年 1 月 9 日となった。

〔報 5-4〕 損害保険大学課程 WEB システム脆弱性診断について

## 6. 2024 年度 表彰制度における日本代協特別賞について

本年度新設された特別賞の運営について各地区の現状報告があり、確認共有された。

#### (主な内容)

- ・ 各ブロックにおいて現時点で特別賞に該当する取組候補の項目を共有した。

・2月理事会に向けて地域担当理事と事務局で協議を行い、全理事に共有する。

〔報6〕2024年度表彰制度（特別賞）について

#### 7. 2024年度第2回活力研開催について

事務局より説明があり確認共有された。

2025年2月に第1回目と同様に個社毎に開催予定である。

① 2月20日(木) 13:00～ TN社・AD社

② 2月21日(金) 9:30～ MS社・SJ社

#### ■ 監事講評

津田監事より以下のとおり監事講評があった。

今日は皆さんお疲れさまでした。

審議事項1の25年度事業計画案の検討は中身の濃い内容であった。各提言を一つ一つ確認すると個性があり、本日いただいた意見を踏まえて、さらなる深堀をお願いする。コンベンションは高評価であったと感じている。式後会場でお会いした会員に直接感想をお伺いしたところ「参加してよかった、よい機会を得た」とのご意見を賜った。

魅力研で課題認識し、ブロック長懇談会の再開が議論されたことは、時の流れと思う。本件について、この場で議論し再度やっという流れにあるが、いまだ議事録が出ていないブロック協議会が散見されるので、地域担当理事には責任をもって対応して頂きたい。懇談会をリアルやwebで再開しようと言っても、現行ルールを守り経理上の費用の整理、確認などを各地が主体的に実行しなければ意味が無くなるものと危惧する。監事として、都度申し上げていることであるので徹底をお願いしたい。

事業計画の進捗報告の中で、地域担当理事からお話のあった各地区で公表された各代協の好取組情報は、PlanDoシートに補記いただければ良いのではと思うので、検討をお願いする。

以上

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後5時13分閉会した。  
終始異状なく議案の審議を終了した。  
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2024年12月5日

議 長 会 長 小 田 島 綾 子 印

議事録署名人 監 事 津 田 文 雄 印

議事録署名人 監 事 小 島 俊 宏 印

議事録作成者 坂 雅夫

本書は、2024年12月5日に開催された一般社団法人 日本損害保険代理業協会の2024年度  
第6回理事会の議事録に相違ないことを証す。

2024年12月5日

一般社団法人 日本損害保険代理業協会  
会長（理事） 小 田 島 綾 子